子育てについて考える

～にかほ育児考～

少子化・核家族化の進行、共働き世帯の増加やライフスタイルの多様化など、社会環境は変化しています。

にかほ市では将来を担う子どもが心身ともに健やかに成長できる地域社会、夫婦が安心して出産でき、子育てに夢と喜びを持つことができる環境づくりを目指しています。

現在、共働きで2人のお子さんを育児中のご夫婦に、子育ての喜びと悩み、子どもが育つ環境づくりへの提言などを伺っています。子育て支援センター事業、保育料の軽減など市の施策・取り組みと合わせて紹介します。（関連記事7ページまで）

三浦さんご夫妻（写真上）
邦博さんのご両親（写真中）
2人のお子さん（写真下）

三浦　邦博さん　梢さん（平沢）

子育ての不安と悩み

～周囲の手助けが必要～

邦博さん　5歳（年長組）と4歳（年中組）の子どもがいます。2人とも女の子で、にかほ保育園に通っています。父親として、育児はまあまあできているかなと思っています。

梢さん　他のパパやママの話を聞くと、すごく協力的だとは思います。私は、大仙市（旧神岡町）の出身で、こちらに知人も少なく、長女の出産からしばらくは大変でした。知らない土地での出産・育児。気持ちが不安定でしたね。そんな中、フェライト子ども科学館のおもちゃライブラリーで、同世代のパパママと知り合うきっかけができました。その後仕事を始め、保育園に2人を預けてから、さらに人との輪が広がっていきました。

邦博さん　結婚して住居を構え、出産・育児と、分からないこと、初めてのことも手探りで進んできました。それでも、琴浦で床屋をしている実家の両親や妻の家族、同じ歳の子を持つ同僚など、まわりに助けられてきたなと感じます。

梢さん　今は、経済的に共働きの夫婦がほとんどです。出産後の求職活動では、仕事柄、平日勤務という条件の仕事は多くありませんでした。当然、休日保育が必要になります。市内では金浦の勢至保育園だけのようですね。もう少し増えてほしいです。子どもが病気の時の一時看護などもあれば助かります。

子どもたちが育つ社会

～喜びと希望を～

邦博さん　少子化といわれますが、うちの子たちが通う保育園では園児数が多いのでピンとこないですね。私は子どもはたくさん欲しいと思っています。少子化対策としても、子どもたちが育つ環境としても、現在の不況から経済が回復し、安心して生活できることが必要だと思います。

梢さん　私は、例えば少人数のクラスでも、ほのぼのした手づくりのような雰囲気が好きです。にかほ市でも学校の統廃合・学区の再編などを検討していると聞きます。合理化もわかりますが、それぞれの長所短所をきちんと検討する必要があると思います。

邦博さん　毎日娘たちは、保育園でのできごとなどを話して聞かせてくれます。子どもと暮らし、成長を見守る。親としての喜びを感じています。

梢さん　長女は「ママと同じ看護師になりたい」次女は「床屋さんに」と言います。うれしく思いますが、2人が健康で元気に育ってくれれば。それが一番の希望です。

知っていますか？こんな子育て支援

～子育て支援センターを活用しよう～

毎日、子育てをしていると楽しみや喜びとともに、いろいろな悩みや不安もでてきます。

市の子育て支援センターでは、子育ての悩みや不安を解消するために、保護者たちが気軽に集まって育児の相談や情報交換ができるように、さまざまな事業を行っています。

すべての支援センターで、スタッフによる子育て相談と施設開放を行っています。

子育て相談

「子育てのストレスが…」、「子どもの成長が心配…」など1人で悩んでいませんか。気軽に相談して、楽しく子育てをしましょう。いつでも相談に来てください。電話での相談も受け付けています。

施設の開放

「誰かと話がしたい…」、「友だちと遊ばせたい…」子育て中のお母さんたちの仲間づくりと、たくさんの友だちと遊びたい子どものために、各支援センターを解放しています。にかほ市民であれば、どの子育て支援センターでも利用できます。

各センターの事業紹介

●仁賀保子育て支援センター「なかよし」

スタッフ　保育士・子育てサークル・子育てサポーターなど

事業内容　「おもちゃライブラリー」「あそぼうよ！かざぐるま」と連携して、フェライト子ども科学館で事業を行っています。楽しいおもちゃがいっぱい。手遊びや紙芝居を楽しむことができます。保育園児との交流もあります。

場所　にかほ保育園内

問合先　☎32・3200

●金浦子育て支援センター「にこにこ」

スタッフ　保育士・子育てサポーターなど

事業内容　「遊びの講座」で体操やおもちゃ遊び、手遊びを楽しむことができます。「保健センターで遊ぼう！」では、保健指導やいろいろな遊びを行います。保育園児との交流もあります。

場所　勢至保育園内

問合先　☎38・2291

●象潟子育て支援センター

スタッフ　保健師・保育士・主任児童委員など

事業内容　「親と子のニコニコクラブ」（年齢別にひよこ・ぱんだ・うさぎコースがあります）育児座談会や親子遠足、合同運動会などを行っています。

場所　象潟保健センター内

問合先　☎43・7501

持ってうれしい あきた子育てふれあいカード 7月からスタート！

秋田県では、企業・店舗と協力し、社会全体で子育て家庭を支えていく「子育て家庭優待事業（あきた子育てふれあいカード）」をスタートさせました。

このカードを協賛店（ガイドブックに掲載）に提示すると、各店舗独自の優待サービス（割引サービスや景品プレゼントなど）が受けられるものです。

保育所・幼稚園・小学校は、児童を通じてカードとガイドブックを配布します。

中学校生徒のいる世帯、自宅で子育て中、妊娠中の方は、7月1日以降に、すくすく子育て支援課、または、各市民サービスセンターで受け取りください。窓口で「子育てふれあいカードの交付」を申し出るだけで受け取れます。

次ページへ続きます